



The incredible panorama of AMAKUSA[風(NAGI)]



# 「天草」の魅力探訪

## 旅人を詩人にするとどう



05



イルカウォッチングは、大人(中学生以上)2,500円、子供(小学生)1,500円、幼児(2歳以上)500円、当日予約可。お申し込みお問い合わせは天草イルカインフォメーション、TEL 0969-26-4500。



07



06

04京都から駆け付けた中島シェフ。「シエモア」は、京都市中京区御幸町通御池上ル TEL 075-212-2130。05天草特産梅肉ポークにフォアグラを詰めた逸品。06中島シェフの夫人でソムリエの靖子さん。07日本最大級の地鶏・天草大王。雄の大きなものは背丈が90cmにも達する。

## AMAKUSA



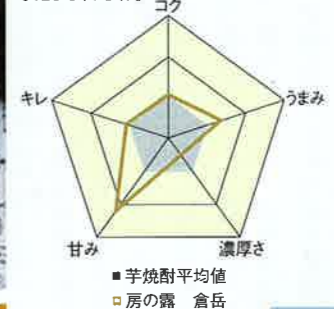
### 東京からのアクセス

〔空路〕羽田空港⇒ANA・JAL・SNA⇒阿蘇くまもと空港 阿蘇くまもと空港⇒天草エアライン⇒天草空港  
羽田空港⇒ANA・JAL・SKY⇒福岡空港 福岡空港⇒天草エアライン⇒天草空港  
〔空路と陸路〕羽田空港⇒ANA・JAL・SNA⇒阿蘇くまもと空港  
阿蘇くまもと空港⇒第二空港線⇒益城熊本IC⇒高速(九州自動車道)⇒松橋IC 松橋IC⇒国道266号⇒上天草市⇒国道324号⇒天草市

ホテルアレグリアガーデンズ天草  
天草市本渡町広瀬996 TEL 0969-22-3161



01「房の露 倉岳」のお問い合わせは、TEL 0966-42-2008。「シモン茶」「シモンうどん」等シモン芋関連商品のお問い合わせは、株式会社くらたけ、TEL 0120-044-547。



02 シモン茶を練りこんだ「海鮮えびうどん」(500円)を味わうには「えび茶屋」へ。天草市倉岳町宮田1284-8 TEL 0969-64-2405

03 シモン芋の広報宣伝に尽力している元・倉岳町長の稲津俊徳氏。



〔上〕天草と熊本本土は、天草五橋を利用する陸路だと車で約2時間半。そこを約20分で結ぶのが「天草エアライン」。予約お問い合わせは、TEL 0120-889-489、携帯、PHS、IP、公共電話からは、TEL 0969-34-1515。

〔下〕機上から眼下に広がるパノラマも大いなる魅力…。

司馬遼太郎は「街道をゆく」で「天草は旅人を詩人にすると評した。旅人を手取り早く詩人の境地へ誘うのは何と言っても土地の酒。「房の露 倉岳」は、倉岳町特産のシモン芋が原料だ。プラジル原産のこの白い薩摩芋は、カリウムが約一千倍なのをはじめ、天然ミネラル、ビタミン類、繊維質を他品種より桁違いに多く含む一方、収穫は二年に一度という貴重品。お茶にしてよし、葉と茎を練り込んでうどんにしてよし、である。

味香り戦略研究所は、「倉岳」をうまみや甘みが強く、優しい味わいと分析した。実は六年前、人を介して届けられたこの酒を、皇太子殿下がご愛飲されたこともある。

天草は食材の宝庫だ。それを知悉している京都「シエモア」の中島昌シエフは、去年に続き、今年も2/4〜2/6に、ホテルアレグリアガーデンズ天草「グランマル」で腕を揮った。テーマは、「フレンチで食す天草の食材」。大好評だった。

五和町から天草下島の北側にある通詞島の沖合まで船を出す。すると野生のミナミハンドウイルカが群れをなしてお出迎えだ。温暖でエサも豊富なため、約二百頭がこの海域を回遊しているという。人懐こく、手の届きそうな距離で顔を出したかと思えば、時にはこちらの船に競争を挑みかけてきたりする。

夢中で、詩を詠むことを忘れた。